

# FRIENDS OF GREEN

No.80 1992年12月発行



## 第35回全国印刷緑友会茨城大会

白井会長挨拶・茨城大会実行委員長挨拶

第35回茨城大会報告・インフォメーション

 全国印刷緑友会

# Ibaragi A GENERAL MEETING



実行委員長  
白井 秀幸

今年の冬は本格的とのこと……しかし、全国印刷緑友会の皆様には寒さに負けず元気で活躍のことと推察申し上げます。

いつも緑友会の活動に挨拶のご協力をいただき厚く感謝申し上げます。茨城大会も、人数こそ不況の所為か例年より少な目でしたが、「大会はお祭り」を地でいくようなすばらしいものとなりました。主管下さいました茨城印刷緑友会の皆様にお礼を申し上げます。本年2月13日には、みなと横浜にて「東京セミナー」が開催されますが、現在、在京9グループの方々が鋭意での準備を進めておられます。5年間続いたバブル景気が終焉し、長かった好況に比例するよう不況の期間も長引くものと思われませんが、不況の時こそ、経営の原点を見つめなおすチャンスではないでしょうか。

第一講では、中村守利先輩より経営の原点ともいえるべき「経営者

の心」について、緑友で学ばれたノウハウを語っていただくことになりました。人心をいかに己れに集めるか——これこそ経営者の永遠の課題であり、多く集めることができれば、それだけ大きな事業が可能になることは申すまでもないでしょう。

第二講では、人を活かす術を緑友の仲間の方々に語っていただきます。三つの分科会に分け、お好みのセミナーを受けていただくことにより、明日からでもすぐに役立てていただければと期待しております。

多くの方々の参加をお願い申し上げます。

ところで、私の会長としての任期も残すところ半年となってしまいました。「イノベーション」「ネットワーク作り」「マーケティング」を目標に、微力ですが私なりに挑戦、提案をしてみました。思った成果が得られず残念に思っております。

私の提言が時期早尚という方もいらつしやいますが、決して早いとは思っておらず、今こそ、もともと勉強好きになつていただき、新しい緑友会の目指す方向を見出すべきだと、今も思っております。

来年五月の総会では、新しいお世話役Ⅱ常任幹事Ⅱが多く誕生することと思いますが、その結果、新しい考えがより多く入ることになり、緑友会のリストラも進んでいくものと期待をするものです。

綱領の三つめ、「われわれは青年印刷人として印刷文化発展に努力しよう」……このことの実現にもつと注力してほしいと願うのです。千家元麿の「雁」から、サミエル・ウールマンの「青春」へと緑友のマインドをシフトしなければ、次世代に歓迎される全国組織とは言えなくなってしまうのではないかと危惧するのです。

理想に満ちた新しいお世話役に「青春」を期待し、印刷業界の発展が正夢となることを願いつつ、新しい年をむかえようと思っております。

ます。来年が緑友会の皆様にとりまして、よりご多幸でありますように、ご祈念申しあげますとともに、来年も変らぬご指導・ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



## 第35回全国印刷緑友会 茨城大会を終えて

茨城印刷緑友会  
全国緑友会茨城大会  
実行委員長 林 明

全国印刷緑友会の皆様には、ますますお元気でご活躍のことと存じます。

去る平成4年9月26日・27日の2日間、私達茨城印刷緑友会の主管による茨城大会が、歴史と文化の城下町「水戸」において、270名余の全国のメンバーのご参加をいただき、盛大に開催されました。

茨城印刷緑友会にとりましては、2回目の大会となりましたが、前日（第19回大会）活躍したメンバーも数人残っており、いろいろなアドヴァイスを受けながら、1年前より準備を始めました。基本的には、大会は緑友の年に一度のお祭りなので、気楽に暖かく全国からの仲間を迎えようという姿勢をとりながら、水戸としての品格を失することのないように準備したつもりです。

登録いただくメンバー会員に大会記念トレーナーを配って、ネクタイをはずしてリラックスタイムとしていただくとの発案は、若いメンバ

ーから出たもので、多くの賛同を得て実行に移されました。(懇親会の際には、全青協の根本議長より「団交に来たのかと錯覚しました。」と冷やかされましたが。)

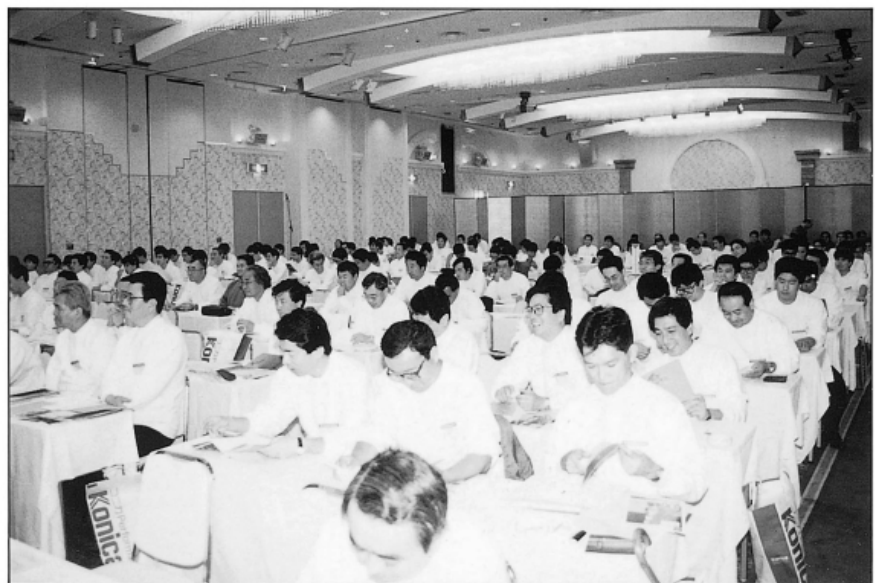
水戸には300名の人員を一度に宿泊させる大型ホテルがない為、5軒のホテルで分泊という形をとらせていただきました。トレーナーの配布とあいまって、なかなかスムーズに登録作業が運ばなかったのも事実ですが、なんとか1時からの式典開始へとこぎつけました。壇上から会場を見ると、白や緑のトレーナー姿の仲間が会場を埋めつくし、やっと大会が始まるのだという大きな感動に包まれました。

記念講演会では、水戸の生んだ現代日本を代表する作曲家の一人、池辺晋一郎先生より「音楽と人生」と題して一時間、作曲のウラ話などおもしろい話を聞かせていただきました。おそらく緑友会の歴史の中で、作曲家による講演は初めてではなかったかと思われます。

続いての「語り合い in Me」と題するフリーディスカッション、

そして懇親会においては、緑友会ならではの触れ合い、語り合いができたものと確信しております。前全国会長城戸憲次君を水戸黄門に扮装させての田舎芝居も、良い思い出となりました。

今大会に向けて、力強いご支援をいただきました白井会長をはじめとする全国常任理事の皆様、全国のグループ長様、そして物心両面にご協力をいただきました数多くの皆様方に心より厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。来年の青森大会が、ますます盛大に開催されますようお祈り申し上げ、茨城大会の報告とさせていただきます。



九月二十六日、水戸京成ホテルにおいて第三五回全国印刷緑友会茨城大会が、茨城印刷緑友会（小倉克夫会長）の主管により開催された。式典、記念講演会、全国のメンバーのネットワークを広げることを目的とした「語り合い in Meとノ」などが行なわれ、全国から集まった二七〇名の若手印刷人が不況のなかでの印刷産業の活性化を誓い合った。

式典は林明実行委員長のバイオリン伴奏による君が代斉唱で幕を明け、同委員長への歓迎のことばに続き、白井会長があいさつを述べた。

「景気が急激に落ち込んでいる昨今だが、今回の不況は簡単にいかないように日本型経営の見直しなど構造的転換点の時期にきていると思う。業界の新しい方向を見つめるためにこの語り合う場で心置きなく情報交換をして明日の経営のプラスになるようにしたい。」

来賓のあいさつでは茨城県中小企業団体中央会の河原井市郎会長に続き県印工組の雨森進理事長が

「草創期に緑友に籍を置いたものとして、こうして皆さんと交流できることに感激している。全印工連でも多数OBが活躍しており、経営の高度化を迫られる大きな変化が押し寄せているが、今大会も充実したものになると確信している」と祝辞。

式典に続いて記念講演会が開催され作曲家の池辺晋一郎氏が「音楽と人生」をテーマに講演を行った。池辺氏はオペラや交響曲の作曲の他、「影武者」「栖山節考」



「峠の群像」など映画・テレビ音楽なども手がけており、現在は日本作曲家協議会副会長、東京音楽大学教授をつとめている。同氏は「音は自然の摂理に従い生きていくものであり、人間の心の中に湧きあがるものが仕事の範囲だと思っている」と自分の音楽に対するポリシーを述べ、「どんなにハイテクの時代になっても手仕事の部分を失なってはいけないし、記号とか機械の背後にあるものを感じることが大事だ。そういう意味で皆さんの仕事も私の仕事も根っこは同じだと思う」と、音楽も印刷も形



に捉われない人間自身の考え方が重要であると語った。

「語り合い in Meとノ」では全国の若手印刷人がグループディスカッションを行ない、印刷業界の転換期になにを成すべきかが真剣に語り合われた。





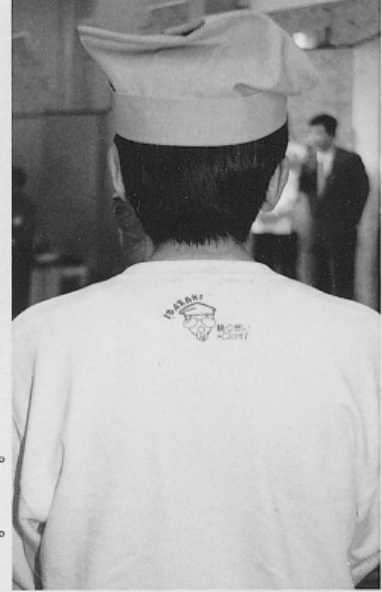
「語り合い in Me と /」な一んてちょっとカッコつけちゃって全国大会を引き受けてしまったんだよね。そんでもって1年も前から「大会どーすっぺ」って、毎週のように集まっちゃあ飲み歩いてたんだ。だから、うまくいくわけねーだよ。だけど「いしけえ大会だったなあ、茨城のみんなごちゃっぺだからしゃーあんめ、なんて云われねえようにやっぺ」って林実行委員長が云うから、いちおうやっかーんで始まっちゃったんだ。なにしろ実行委員長自ずからヴァイオリン弾いて始めの君が代から終りのくつがなるまでガンバンてんだから、みんなもガンバレって。トレーナーもそろえちゃったし。9月26日(土)当日は朝から小雨だったけど、どうせ京成ホテル内でやんだから関係ねえ。少し遅れちゃったけど1時には始まったんだ。

白井全国会長が挨拶で今景気が悪いから生き残るためには何んか考えねえとだめだなんつーことを云ってたようだけどホントだよ。それから茨印工理事長で緑友会OBの雨森さんもネットワークがどうのこうの云ってたけど要するにみんなで手をつないで仲良くやっていくべえって事じゃねえの。そんなこんなで式典やっとなんては講演だ。

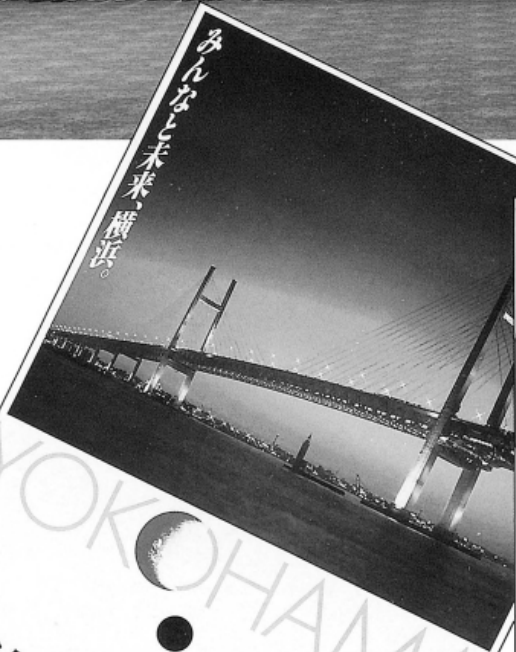
講師の池辺晋一郎先生はおれ等も自慢してんだ。水戸出身の作曲家でいろんな方面で活躍してて、「音楽と人生」の話をしてくれとたのんだら気持ちよく引受けてくれたんだ。流石に話は面白かったよね。音楽もだんだん高い方へ音をもって行かねえと迫力がでねえし、景気も悪いんでねえの一つうから仕事も同じなんだなあーって感心しちゃった。それが終わったら今度はそれぞれに分かれて、グループディスカッションなんだって。何んだか知んねえーけど、やたら英語ばっか使ってよく解んねえーが、いろいろ皆んなでくっちゃべってみっぺー。

そうしてやっとなんて懇親会になったんだ。これはもう、まかしとけだよ。なんつっても茨城は全員が5時から男なんだから。もうハリキっちゃう。特に司会の余語君は、はじめからイレ込んでんだから。やっぱり親(余語靖夫OB昭和60年第28回総会の司会)ゆずりだよ。でも本当にご苦労だったね。うまいんだーこれがつて城戸高史JC印刷部会長の乾杯で祝宴が始まった。つづいて茨城県指定文化財の伝統芸能「水戸大神楽」——こんなのが好きなんだ。テケテケ太鼓の次はいよいよメインイベントのジャンケンダービー、八百長はなかつたけど茨城もいいとこまでいったよね。トツゼン「控えおろうー」って大声がしたら水戸黄門、助さん格さんが入ってきた。いやーおったまげた。ヒゲの黄門は城戸君、助さんは林実行委員長、格さんは小倉茨城会長、城戸黄門、セリフをドジっちゃった。まあこんなもんだよ。でもハートとハートで語りあえればいい。——なんて格好つけていってたけど、そんなフランス語使わねえでくんろ、ようするに心と心で——つうらしいな。ワイワイさわいで飲んでたけど、大事なことやんなくちゃ。次期開催セミナー(在京9グループ主管)次期総会(大分印刷若梅会主管)、次期大会(青森県印刷青年経営者会議主管)を紹介、大会旗の伝達などをやって終りはやっぱりお手々つないで——大合唱しなくちゃおさまんめえ。

(茨城印刷緑友会記)



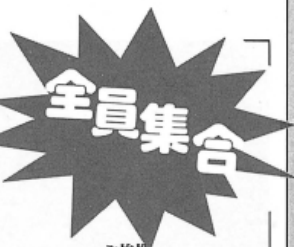
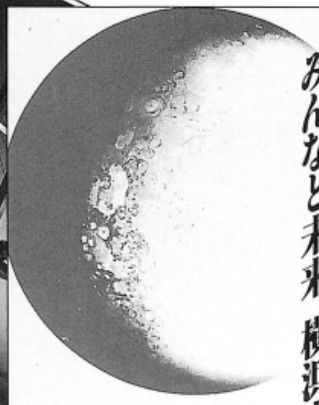
# INFORMATION



YOKOHAMA

第26回全国印刷緑友会東京セミナー  
1993.2.13(sat)  
会場 横浜(横浜中華街)  
登録費 ¥15,000

主催 ◆ 全国印刷緑友会常任幹事会  
主幹 ◆ 在京9グループ



みんなと未来、横浜、東京セミナー

ご挨拶

全国印刷緑友会の皆様には、益々お元気で活躍のこと存じます。  
明年2月の開催されます東京セミナーを「来年」で在京9グループでお世話させていただきます。  
みなと未来「よこはま」は今日大きな街並みを変えています。夜のベイブリッジは皆様の「夢の世界」へと導いてくれると思います。  
ところで、今回のセミナーの第一講は、緑友会の先輩で独自の経営哲学で活躍なさっています、中村守利氏に緑友を通して学んだ真の経営者の心を語って頂き、第二講は明日からでもすぐに役立つ緑友のメンバーによる三分利会を企画しました。緑友ならではの手作りのセミナーです。全国から多くのご参加を在京グループ一同お待ちしております。



東京セミナー実行委員長  
利根川 政明

セミナーA

緑友で学んだ経営者の心  
講師：株式会社プレスズ代表取締役社長  
東京工機管理、空業委員会委員長  
第14代全国印刷緑友会会長 中村守利氏

セミナーB

人を活かすコンピュータ  
講師：株式会社スタッフエス 代表取締役社長 自井慶吾氏  
1 賃れのために入力するが 記録、より 記録、が得つ、  
2 手入力、にまつて 記録、する 仕事、を 止、め、ら、う、

人を活かす技術  
講師：株式会社コーポレーション 国内営業本部 部長 前 周次氏  
1 オペレーターによって決まる機械性能。  
(L/Wに生産性を向上させるか)  
2 若手オペレーターの育成方法  
(マナーメントサークル)

人(女性)を活かす職場

講師：金山印刷機工業工場長 仲林勝利氏  
1 女性に課した職場環境になっていくか？  
2 経営者に女性を活かすかまえばありますか。

◆当日のスケジュール

- 登録受付 12時30分
- 式典 13時00分
- セミナーA 13時30分～15時00分
- セミナーB 15時30分～17時00分
- 懇親会 18時00分～20時00分

主催 ◆ 全国印刷緑友会常任幹事会  
主幹 ◆ 在京9グループ・印刷同友会・千代田印刷人新世会・文京緑友会・東京プロセス製版再組合・東京写真製版者委員会・東印工機支部若竹会  
・松友内山会・神奈川正和会・東印工機山之字支那山内会



全国印刷緑友会

**FRIENDS OF GREEN**

---

**FRIENDS OF GREEN**

**No.80**

〒920-03 金沢市打木町東365

TEL. 0762 (40) 3700

発行人 白井秀幸(金沢青年印刷人クラブ)

編集人 千代田印刷人新世会

---